

平成30年2月21日
熊本県宇城市

ブランド復活に向けた地域間交流施設（金桁温泉）の整備 ～130年超の歴史を誇る名湯を観光の拠点へ～

市では、130年超の歴史を誇る「金桁（かなけた）温泉」のブランド復活を目指し、三角西港と併せた観光拠点のシンボルとして地域間交流施設（金桁温泉）を整備します。

この施設は、宇城市三角町中村（金桁地区）にある三角老人福祉センターを廃止・解体後に建設するもので、金桁特有の泉質（炭酸泉）を活かした温泉施設です。観光拠点と地域コミュニティの機能を有するよう開放的な「憩いの場」、「えんがわ」、「足湯」等を整備し、三角町を連想させる三角の屋根を連続した特色のある外観デザインで、温かみや優しさを醸し出し周辺の景観にも調和するよう配慮しています。

平成31年度の開業を目途に進めており、この金桁温泉の復活により、更なる三角町の認知度向上と観光客の回遊性を高め、ひいては滞在型観光地の形成に寄与するものです。

- 1 建設場所
宇城市三角町中村381番地2 三角老人福祉センター（跡地）
- 2 施設規模
敷地面積 3,695.31㎡ 建築本体 約280㎡ 完成予想図別紙参照
- 3 建設工事費(予定)
約1億円程度
- 4 完成及び供用開始時期
平成31年度中に整備・供用開始予定

【問い合わせ先】

企画部まちづくり観光課
木下次長（課長）、坂本係長
〒869-0592 宇城市松橋町大野 85
TEL : 0964-32-1906（直通）
FAX : 0964-32-2222